

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	横浜医療秘書&IT 専門学校
設置者名	学校法人 三幸学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数	省令で定める基準単位数	配置困難
商業実務専門課程	医療秘書科	夜・通信	7 単位	7 単位	
	医療事務科	夜・通信	4 単位	4 単位	
	診療情報管理士科	夜・通信	10 単位	10 単位	
	くすりアドバイザー科	夜・通信	7 単位	7 単位	
	WEB デザイン・IT プログラミング科	夜・通信	7 単位	7 単位	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

「実務経験のある教員等による授業科目一覧表」を職員室に設置し、広く一般に公開
--

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	横浜医療秘書&IT 専門学校
設置者名	学校法人 三幸学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<https://www.sanko.ac.jp/pdf/share/disclosure/yakuinmeibo.pdf>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	弁護士	R7.6.16～ R7.6.16 から 4 年以内に終 了する会計 年度のうち 最終のもの に関する定 時評議員会 の終結の時 まで	法務
非常勤	弁護士	R7.6.16～ R7.6.16 から 4 年以内に終 了する会計 年度のうち 最終のもの に関する定 時評議員会 の終結の時 まで	法務
(備考)			

様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	横浜医療秘書&IT 専門学校
設置者名	学校法人 三幸学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) 法人統一の「シラバス作成ガイドライン」にのっとり作成する。作成にあたっては生徒より取得する授業評価アンケートをもとに毎年度改善を図り、2 月を目途に実施される教員会議において連携科目間の調整を行っている。 原則として法人統一の様式を使用し、客観的に分かりやすい「授業計画」「到達目標」「成績評価基準」を作成・公表している。 公表はインターネットによる他、授業内で当該生徒へ説明する。また、習熟度等に応じて授業計画が変更される場合は、都度説明を行うものとする。(公表の時期は毎年度 4 月を目途とする)	
授業計画書の公表方法	https://www.sanko.ac.jp/disclosure/yokohama-med/
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) 教務規程に基づき、各学生の学習成果(試験、レポートの他、平素の履修状況等)を総合的に勘案し評価を行うものとする。 科目ごとにシラバスにあらかじめ定められた評価基準に基づき 100 点法で素点を出し、それを 20 で割り四捨五入した 5 点法に換算する。 なお、出席がシラバスに定められた規定時間数に達しないものについては不良科目とみなし、成績評価は 1 とする。	

3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。 (客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) 全履修科目の評定(5点法で示されたもの)の和を科目数で除したものを「評定平均」とし、年に2回(期末ごとに)一覧管理を行うことで、成績の分布状況を把握する。	
客観的な指標の算出方法の公表方法	https://www.sanko.ac.jp/disclosure/yokohama-med/schoolinfo.pdf
4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。 (卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) 本校に修業年限以上在籍し、所定の単位を修得し校長に卒業を認められた者に卒業の認定を行う。卒業に必要な単位数は科目配当表に示す通りとする。 なお、卒業を認める者については課程において設定した目指すべき人材像を満たすことを求める。	
卒業の認定に関する方針の公表方法	https://www.sanko.ac.jp/disclosure/yokohama-med/schoolinfo.pdf

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	横浜医療秘書&IT 専門学校
設置者名	学校法人 三幸学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.sanko.ac.jp/pdf/share/disclosure/9.pdf
収支計算書又は損益計算書	https://www.sanko.ac.jp/pdf/share/disclosure/9.pdf
財産目録	https://www.sanko.ac.jp/pdf/share/disclosure/9.pdf
事業報告書	https://www.sanko.ac.jp/pdf/share/disclosure/9.pdf
監事による監査報告（書）	https://www.sanko.ac.jp/pdf/share/disclosure/9.pdf

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名		専門士	高度専門士	
商業実務		専門課程	医療秘書科		○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	62 単位	83 単位	39 単位	3 単位	0 単位	0 単位
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
160 人		222 人	0 人	15 人	34 人	49 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 授業計画については、法人統一の「シラバス作成ガイドライン」にのっとり作成する。 作成にあたっては生徒より取得する授業評価アンケートをもとに毎年度改善を図り、2月を目途に実施される教員会議において連携科目間の調整を行っている。
成績評価の基準・方法
（概要） 教務規程に基づき、各学生の学習成果（試験、レポートの他、平素の履修状況等）を総合的に勘案し評価を行うものとする。 科目ごとにシラバスにあらかじめ定められた評価基準に基づき 100 点法で素点を出し、それを 20 で割り四捨五入した 5 点法に換算する。 なお、出席がシラバスに定められた規定時間数に達しないものについては不良科目とみなし、成績評価は 1 とする。
卒業・進級の認定基準
（概要） 本校に修業年限以上在籍し、所定の単位を修得し校長に卒業を認められた者に卒業の認定を行う。卒業に必要な単位数は科目配当表に示す通りとする。
<目指すべき人材像>

・医療従事者として、受付対応、レセプト業務、看護補助、医師事務作業補助者等ができる知識を有する。 ・病院・クリニックにおいてチーム医療の一員としての自覚を持ち、即戦力となる。
学修支援等
（概要） クラス担任制をとり、本人および保護者との電話連絡ならびに三者面談を実施し、常に状況の確認を行う。また担任のみならず、カウンセリングルームの紹介など、学校にかかわる全教職員でのサポート体制を敷いている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
56 人 (100%)	0 人 (0%)	52 人 (92.9%)	4 人 (7.1%)
（主な就職、業界等） 病院・クリニック・美容外科・スポーツクリニック・大学病院			
（就職指導内容） 外部人事講話・就職説明会・面接練習			
（主な学修成果（資格・検定等）） 医療事務検定 1 級・診療報酬請求事務能力認定試験・歯科医療事務検定 1 級・介護報酬請求事務技能検定試験・調剤報酬請求事務技能検定・パソコン技能検定			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
192 人	17 人	8.9%
（中途退学の主な理由） 心身耗弱・目標喪失		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任による面談の実施・保護者会の実施・スクールカウンセラーの設置		

分野		課程名	学科名		専門士	高度専門士	
商業実務		専門課程	医療事務科				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1 年	昼	31 単位	28 単位	13 単位	0 単位	0 単位	0 単位
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
30 人		15 人	0 人	15 人	34 人	49 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
（概要） 授業計画については、法人統一の「シラバス作成ガイドライン」にのっとり作成する。作成にあたっては生徒より取得する授業評価アンケートをもとに毎年度改善を図り、2月を目途に実施される教員会議において連携科目間の調整を行っている。	
成績評価の基準・方法	
（概要） 教務規程に基づき、各学生の学習成果（試験、レポートの他、平素の履修状況等）を総合的に勘案し評価を行うものとする。 科目ごとにシラバスにあらかじめ定められた評価基準に基づき 100 点法で素点を出し、それを 20 で割り四捨五入した 5 点法に換算する。 なお、出席がシラバスに定められた規定時間数に達しないものについては不良科目とみなし、成績評価は 1 とする。	
卒業・進級の認定基準	
（概要） 本校に修業年限以上在籍し、所定の単位を修得し校長に卒業を認められた者に卒業の認定を行う。卒業に必要な単位数は科目配当表に示す通りとする。 <目指すべき人材像> ・医療従事者として、受付対応、レセプト業務等ができる知識を有する。 ・病院・クリニックにおいてチーム医療の一員としての自覚を持ち、即戦力となる。	
学修支援等	
（概要） クラス担任制をとり、本人および保護者との電話連絡ならびに三者面談を実施し、常に状況の確認を行う。また担任のみならず、カウンセリングルームの紹介など、学校にかかわる全教職員でのサポート体制を敷いている。	

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
23 人 (100%)	0 人 (0%)	22 人 (95.7%)	1 人 (4.3%)
（主な就職、業界等） 病院・クリニック・薬局			

(就職指導内容) 外部人事講話・就職説明会・面接練習
(主な学修成果(資格・検定等)) 医療事務検定1級・診療報酬請求事務能力認定試験・歯科医療事務検定1級・介護報酬請求事務技能検定試験・調剤報酬請求事務技能検定・パソコン技能検定
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
25 人	2 人	8%
(中途退学の主な理由) 心身耗弱		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任による面談の実施・保護者会の実施・スクールカウンセラーの設置		

分野		課程名	学科名		専門士	高度専門士	
商業実務		専門課程	診療情報管理士科		○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3 年	昼	93 単位	62 単位	51 単位	3 単位	0 単位	0 単位
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120 人		90 人	0 人	15 人	34 人	49 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
（概要） 授業計画については、法人統一の「シラバス作成ガイドライン」にのっとり作成する。作成にあたっては生徒より取得する授業評価アンケートをもとに毎年度改善を図り、2 月を目途に実施される教員会議において連携科目間の調整を行っている。	
成績評価の基準・方法	
（概要） 教務規程に基づき、各学生の学習成果（試験、レポートの他、平素の履修状況等）を総合的に勘案し評価を行うものとする。 科目ごとにシラバスにあらかじめ定められた評価基準に基づき 100 点法で素点を出し、それを 20 で割り四捨五入した 5 点法に換算する。 なお、出席がシラバスに定められた規定時間数に達しないものについては不良科目とみなし、成績評価は 1 とする。	
卒業・進級の認定基準	
（概要） 本校に修業年限以上在籍し、所定の単位を修得し校長に卒業を認められた者に卒業の認定を行う。卒業に必要な単位数は科目配当表に示す通りとする。 <目指すべき人材像> ・診療情報管理士認定資格を保持し、診療情報管理士としての基本的な知識と、情報活用に必要高度なパソコンスキルを有する。 ・高いホスピタリティ・コミュニケーション力を有する。 ・チーム医療の中心的役割、及び、病院経営に貢献できる経営に関する知識を有する。	
学修支援等	
（概要） クラス担任制をとり、本人および保護者との電話連絡ならびに三者面談を実施し、常に状況の確認を行う。また担任のみならず、カウンセリングルームの紹介など、学校にかかわる全教職員でのサポート体制を敷いている。	

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
29 人 (100%)	0 人 (0%)	28 人 (96.6%)	1 人 (3.4%)

(主な就職、業界等) 病院・大学病院
(就職指導内容) 外部人事講話・就職説明会・面接練習
(主な学修成果(資格・検定等)) 医療事務検定1級・診療報酬請求事務能力認定試験・歯科医療事務検定1級・介護報酬請求事務技能検定試験・調剤報酬請求事務技能検定・パソコン技能検定
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
86 人	4 人	4.7%
(中途退学の主な理由) 心身耗弱・家庭の事情		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任による面談の実施・保護者会の実施・スクールカウンセラーの設置		

分野		課程名	学科名		専門士	高度専門士	
商業実務		専門課程	くすりアドバイザー科		○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	62 単位	62 単位	11 単位	9 単位	0 単位	0 単位
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
70 人		40 人	1 人	15 人	34 人	49 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
（概要） 授業計画については、法人統一の「シラバス作成ガイドライン」にのっとり作成する。作成にあたっては生徒より取得する授業評価アンケートをもとに毎年度改善を図り、2 月を目途に実施される教員会議において連携科目間の調整を行っている。	
成績評価の基準・方法	
（概要） 教務規程に基づき、各学生の学習成果（試験、レポートの他、平素の履修状況等）を総合的に勘案し評価を行うものとする。 科目ごとにシラバスにあらかじめ定められた評価基準に基づき 100 点法で素点を出し、それを 20 で割り四捨五入した 5 点法に換算する。 なお、出席がシラバスに定められた規定時間数に達しないものについては不良科目とみなし、成績評価は 1 とする。	
卒業・進級の認定基準	
（概要） 本校に修業年限以上在籍し、所定の単位を修得し校長に卒業を認められた者に卒業の認定を行う。卒業に必要な単位数は科目配当表に示す通りとする。 <目指すべき人材像> 登録販売者資格を取得し、ドラッグストア・薬局・薬店等、薬業界において、即戦力としてお客様・患者様対応が出来る知識・技術を有する	
学修支援等	
（概要） クラス担任制をとり、本人および保護者との電話連絡ならびに三者面談を実施し、常に状況の確認を行う。また担任のみならず、カウンセリングルームの紹介など、学校にかかわる全教職員でのサポート体制を敷いている。	

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
26 人 (100%)	1 人 (3.8%)	25 人 (96.2%)	0 人 (0%)
（主な就職、業界等） 調剤薬局・ドラッグストア			

(就職指導内容) 外部人事講話・就職説明会・面接練習
(主な学修成果(資格・検定等)) 医療事務検定1級・診療報酬請求事務能力認定試験・歯科医療事務検定1級・介護報酬請求事務技能検定試験・調剤報酬請求事務技能検定・パソコン技能検定
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
46 人	1 人	2.2%
(中途退学の主な理由) 目標の変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任による面談の実施・保護者会の実施・スクールカウンセラーの設置		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		専門課程	WEB デザイン&IT プロ グラミング科				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	62 単位	54 単位	34 単位	0 単位	0 単位	6 単位
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
30 人		50 人	23 人	15 人	34 人	49 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 授業計画については、法人統一の「シラバス作成ガイドライン」にのっとり作成する。作成にあたっては生徒より取得する授業評価アンケートをもとに毎年度改善を図り、2 月を目途に実施される教員会議において連携科目間の調整を行っている。
成績評価の基準・方法
（概要） 教務規程に基づき、各学生の学習成果（試験、レポートの他、平素の履修状況等）を総合的に勘案し評価を行うものとする。 科目ごとにシラバスにあらかじめ定められた評価基準に基づき 100 点法で素点を出し、それを 20 で割り四捨五入した 5 点法に換算する。 なお、出席がシラバスに定められた規定時間数に達しないものについては不良科目とみなし、成績評価は 1 とする。
卒業・進級の認定基準
（概要） 本校に修業年限以上在籍し、所定の単位を修得し校長に卒業を認められた者に卒業の認定を行う。卒業に必要な単位数は科目配当表に示す通りとする。 ＜目指すべき人材像＞ ・WEB デザイナー、IT 関連職種として、顧客の希望を理解し、対応するための基本的な技術・知識を有する。 ・企業の中での自分の役割を理解し、自ら課題を解決しようとする姿勢を有する。
学修支援等
（概要） クラス担任制をとり、本人および保護者との電話連絡ならびに三者面談を実施し、常に状況の確認を行う。また担任のみならず、カウンセリングルームの紹介など、学校にかかわる全教職員でのサポート体制を敷いている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
0 人 (100%)	0 人 (0%)	0 人 (0%)	0 人 (0%)

(主な就職、業界等) WEB デザイナー・WEB ディレクター・グラフィックデザイナー・システム運用管理者
(就職指導内容) 外部人事講話・就職説明会・面接練習
(主な学修成果(資格・検定等)) I T パスポート・基本情報技術者試験・ウェブデザイン技能検定 3 級・色彩活用ライフ ケアカラー検定 色彩学
(備考) (任意記載事項) 2026 年度新設のため卒業生なし

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
0 人	0 人	0.0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任による面談の実施・保護者会の実施・スクールカウンセラーの設置		

②学校単位の情報

a)「学生納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考（任意記載事項）
医療秘書科	100,000 円	740,000 円	260,000 円	その他（施設費・実習費等
医療事務科	100,000 円	740,000 円	260,000 円	その他（施設費・実習費等
診療情報管理士科	100,000 円	740,000 円	260,000 円	その他（施設費・実習費等
くすりアドバイザー科	100,000 円	740,000 円	260,000 円	その他（施設費・実習費等
WEB デザイン&IT プロ グラミング科	100,000 円	740,000 円	380,000 円	その他（施設費・実習費等
修学支援（任意記載事項）				

b) 学校評価

自己点検評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.sanko.ac.jp/disclosure/yokohama-med/		
第三者評価の基本方針（実施方法・体制）		
学校関係者として、関連分野の業界関係者、卒業生、ならびに地域に根差した関連企業等の中から3名以上を選出し、学校関係者評価委員会を設置する。 委員の選出区分は、企業関係者、卒業生、保護者等とし、当該学校の教職員は委員となることができないものとする。 同委員会においては、教育目標および教育活動について評価を行うものとし、主な評価項目は、教育課程、進路指導、学生支援、教育環境等とする。 評価に当たっては、「専修学校における学校評価のガイドライン」に定める評価項目を用いて実施した自己点検・自己評価の結果を基に行うことを基本方針とする。 また、評価結果は学校のホームページで公表するとともに、委員会で得られた意見については速やかに集約し、各業務担当者へフィードバックする。 さらに、評価結果を踏まえた改善方策については、実施時期および責任者を明確にした上で計画的に実行し、学校運営の改善に活用するものとする。		
第三者評価の委員		
所属	任期	種別
社会医療法人財団 仁医会 牧田総合病院 医事管理部部長	令和8年4月1日～ 令和9年3月31日	関連業界等関係者
東海大学医学部附属病院	令和8年4月1日～ 令和9年3月31日	卒業生
学校法人三幸学園 飛鳥未来高等学校 キャンパス長	令和8年4月1日～ 令和9年3月31日	教育に関し知見を有する者
大成建設株式会社	令和8年4月1日～ 令和9年3月31日	その他校長が必要と認める者
第三者評価結果の公表方法		

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.sanko.ac.jp/disclosure/yokohama-med/
(備考)
第三者評価未実施（実施準備中）

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.sanko.ac.jp/disclosure/yokohama-med/
--